

copro

2023年3月期第1四半期（第17期）

決算説明資料

2022年8月10日(水)

株式会社コプロ・ホールディングス

東証プライム・名証プレミア（証券コード：7059）

- 1. 連結決算概要**
- 2. 建設技術者派遣における主な取組み**
- 3. 連結業績予想**
- 4. 参考資料**

1. 連結決算概要

2. 建設技術者派遣における主な取組み

3. 連結業績予想

4. 参考資料

連結決算ハイライト

- 売上高は、コア事業である建設技術者派遣のコプロ・エンジニアードが、採用数の拡大、並びにヒューコス株式会社からの事業承継に伴う技術者の移籍により売上高を伸ばしたほか、前期に新規連結したアトモスおよびバリューアークコンサルティングの寄与により、前期比+19.5%の大幅増収。
- 営業利益およびNon-GAAP営業利益は、来期以降の業績拡大に向けた先行投資と位置づけ、優秀な人財確保に向けて採用費を積極的に投入したこと等により、それぞれ前期比△17.0%、同△3.5%の減益。
- 各段階利益は上期予想に対して順調に推移。

(百万円)

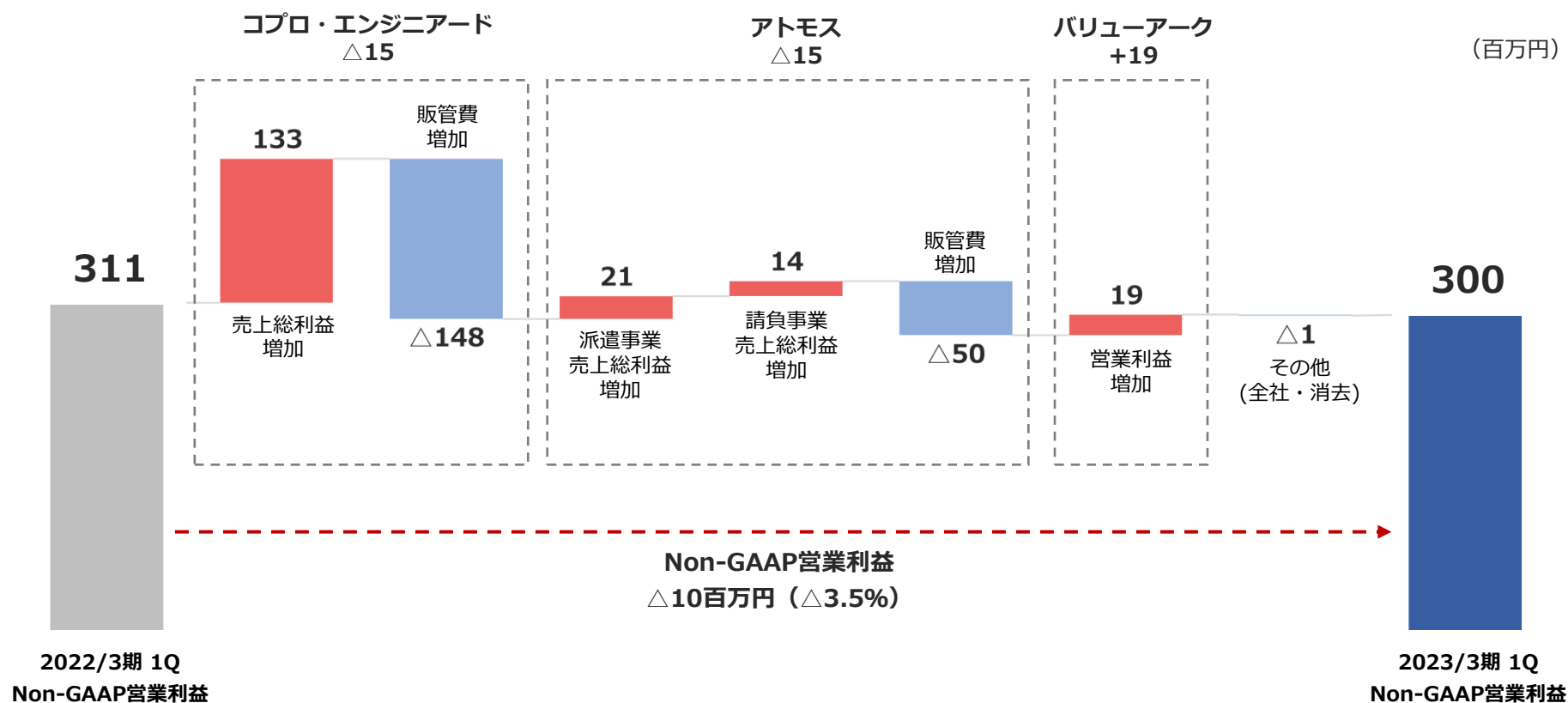
	2022/3期		2023/3期		前期比		2023/3期	
	1Q	構成比	1Q	構成比	増減率	増減額	上期予想	1Q進捗率
売上高	3,555	100.0%	4,249	100.0%	+19.5%	+693	8,144	52.2%
売上原価	2,491	70.1%	2,972	70.0%	+19.3%	+481	5,662	52.5%
売上総利益	1,063	29.9%	1,276	30.0%	+20.0%	+212	2,482	51.4%
販売費及び一般管理費	786	22.1%	1,045	24.6%	+33.0%	+259	2,193	47.7%
営業利益	277	7.8%	230	5.4%	△17.0%	△47	289	79.7%
減価償却費	28	0.8%	33	0.8%	+18.4%	+5	—	—
のれん償却費	—	—	26	0.6%	—	+26	—	—
株式報酬費用	5	0.1%	9	0.2%	+85.9%	+4	—	—
Non-GAAP営業利益 [※]	311	8.7%	300	7.1%	△3.5%	△10	427	70.3%
経常利益	277	7.8%	230	5.4%	△16.8%	△46	290	79.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	154	4.3%	135	3.2%	△12.4%	△19	158	85.4%
連結技術者数(期末) [※]	1,957	—	2,394	—	+22.3%	+437	—	—

※ Non-GAAP営業利益は、本質的な業績を測る利益指標として、営業利益に減価償却費、のれん償却費、株式報酬費用を足し戻した金額を計算しています。

※ 連結技術者数はSES事業におけるITフリーランスを含む期末人員数を記載しています。

Non-GAAP営業利益

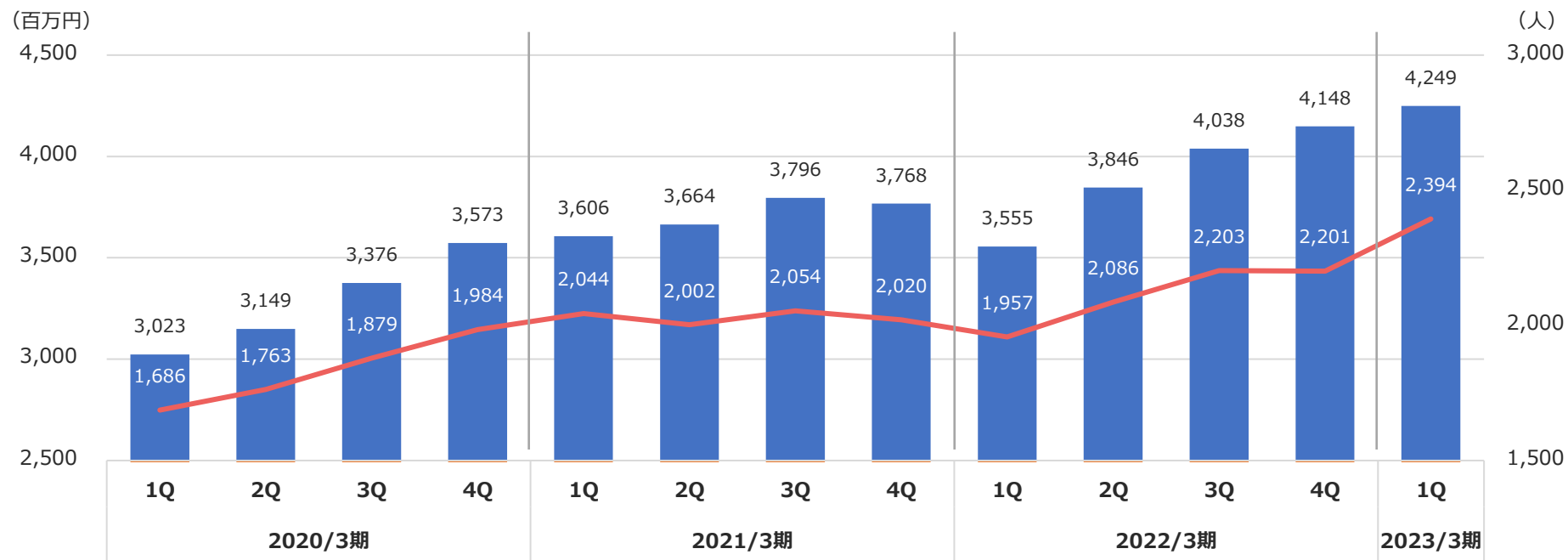
- 建設技術者派遣のコプロ・エンジニアードは、技術社員数の増加によりトップラインが伸長。一方、積極的な採用費の投入のほか、ヒューコス株式会社からの事業承継に伴う対価支払等により販管費が増加したため、△15百万円の減益要因となった。
- 2022年3月期2Qから新規連結したアトモスは、営業及び採用の強化に向けた人件費及び採用費の増加等により、△15百万円の減益要因となった。
- 2022年3月期3Qから新規連結したバリューアークコンサルティングは、人員拡充に伴う人件費増を吸収し+19百万円の増益要因となった。



※ Non-GAAP営業利益は、本質的な業績を測る利益指標として、営業利益に減価償却費、のれん償却費、株式報酬費用を足し戻した金額を計算しています。

四半期連結業績

- 当第1四半期における売上高は、技術者数の増加に伴い過去最高を更新。
- 当第1四半期のNon-GAAP営業利益は、主にコプロ・エンジニアードにおける新卒技術者の研修期間に伴う待機労務費等による売上原価率の上昇、および採用費等の販管費の増加により、前四半期(22/3期4Q)に比べ減少。



売上高	3,023	3,149	3,376	3,573	3,606	3,664	3,796	3,768	3,555	3,846	4,038	4,148	4,249
Non-GAAP営業利益	318	391	485	482	218	357	450	503	311	410	561	558	300
連結技術者数(期末)	1,686	1,763	1,879	1,984	2,044	2,002	2,054	2,020	1,957	2,086	2,203	2,201	2,394

■ 売上高 — 連結技術者数(期末)

※ Non-GAAP営業利益は、本質的な業績を測る利益指標として、営業利益に減価償却費、のれん償却費、株式報酬費用を足し戻した金額を計算しています。

※ 連結技術者数はSES事業におけるITフリーランスを含む期末人員数を記載しています。

1. 連結決算概要

2. 建設技術者派遣における主な取組み

3. 連結業績予想

4. 参考資料

建設技術者派遣における主な取り組み

営業力強化

当期の主な取り組み

- 営業プロセスのKPI管理により、営業担当者の活動量を拡大
- 建設需要の高い東名阪の各支店への営業人員拡充

進捗評価

1Q取得案件数
6,172件
(前期比+214.6%)

- 営業改革の取り組みにより、営業量の底上げにおいては一定の成果を獲得

採用数拡大

当期の主な取り組み

- 採用数の拡大、及び技術者1人当たり採用費の社内基準引き上げにより、中途採用費を前期比2.3倍投入。
- 応募者との面接数増加に対応するため、採用プロセスのKPI管理により採用担当者の活動量を拡大
- 採用体制を強化。採用担当者の増員に加え、建設需要の高い東名阪における人財確保に向け、面接設定の専任担当者を配置し、応募から面接までのリードタイムを短縮

進捗評価

1Q中途採用費
89百万円
(前期比+130.1%)

1Q中途採用数
239人
(前期比+65人)

- 1Q採用費は社内計画を若干下振れ
- 1Q中途採用数は社内計画線で推移
- 2Q以降段階的に採用数を積み上げる計画のため、採用体制の強化は継続実施

定着率改善

当期の主な取り組み

- 深耕営業により、工事案件を豊富に有し、高い契約継続率が見込めるターゲット企業への新規配属及び契約満了時のシフト配属を促進
- 条件を満たした有期雇用社員を無期雇用へ転換
- 新規採用は無期雇用転換を前提に雇用

進捗評価

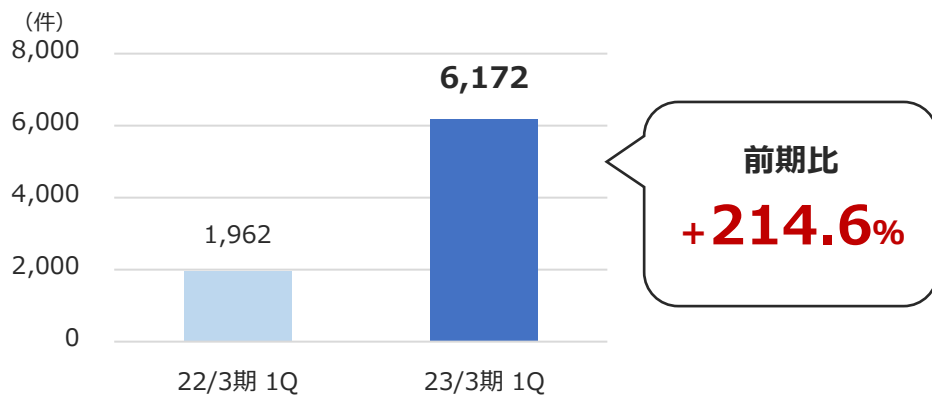
1Qターゲット企業配属比率
89.2%
(前期比+5.3pts)

1Q無期雇用技術社員数比率
49.5%
(前期比+26.7pts)

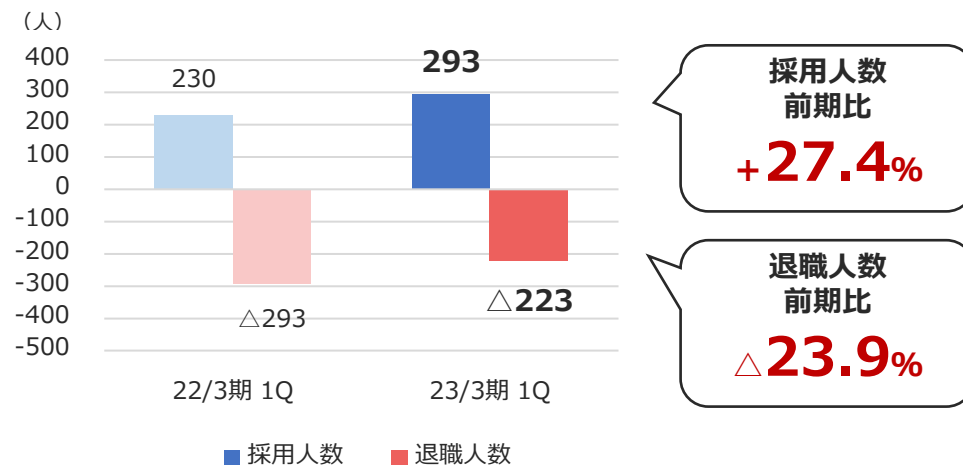
- 大手ゼネコンを始めとしたターゲット企業への配属が進展
- ターゲット企業配属比率と無期雇用社員比率の上昇により退職数は減少
- 2Q以降も更なる定着率向上に向け取り組みを推進

主要KPIサマリー（建設技術者派遣）

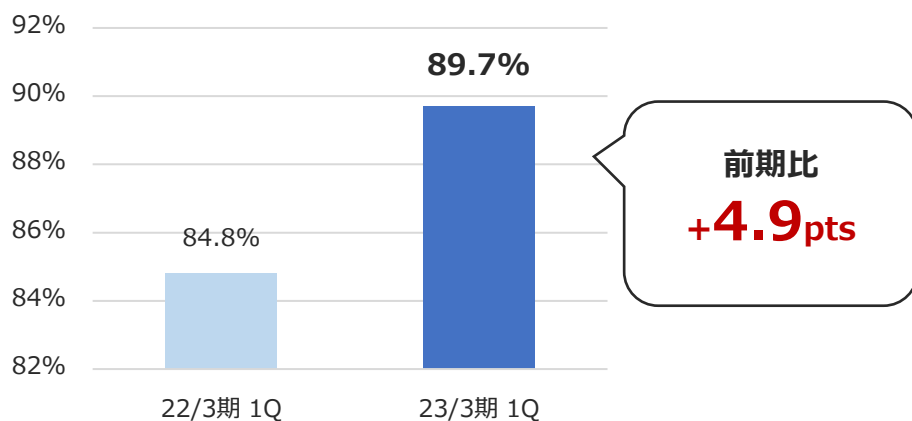
取得案件数



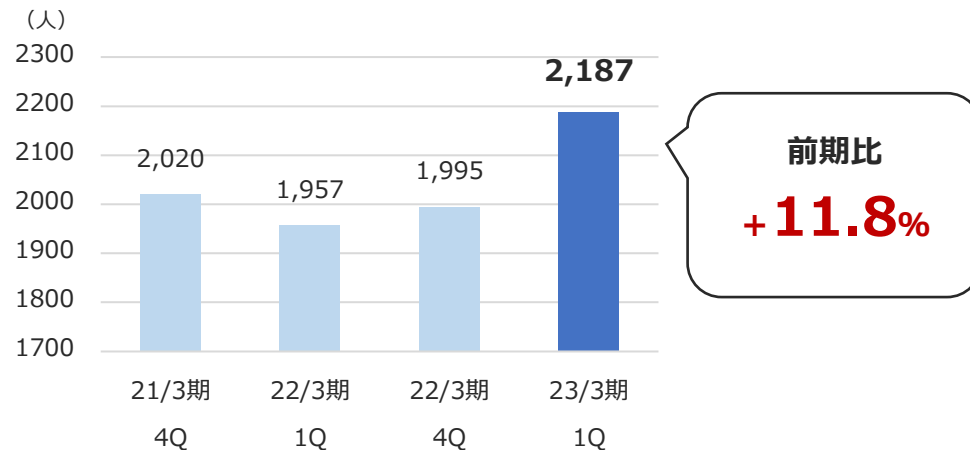
技術社員の採用・退職人数



技術社員の定着率(1Q累計)



技術社員数(期末在籍)



1. 連結決算概要

2. 建設技術者派遣における主な取組み

3. 連結業績予想

4. 参考資料

2023年3月期連結業績予想

- 売上高はコア事業の建設技術者派遣を中心に配属人数を積み上げ、前期比+14.5%の増収を予想。
- 採用がボトルネックとなり機会ロスが発生している現状を打破するため、当期を事業拡大に向けた先行投資を進めるフェーズと位置づけ、成長の基盤となる優秀な技術者の確保を目的に、新卒採用を含む採用費は前期比約2.5倍を計画。
- 積極的な採用費の投入等に伴う販管費の増加により、Non-GAAP営業利益は前期比△27.6%の減益を予想。
- 来期2024年3月期は当期の先行費用を回収し、V字回復により営業利益以下、過去最高益を目指す。

(百万円)

	2022/3期		2023/3期		前期比	
	通期	構成比	通期 (予想)	構成比	増減率	増減額
売上高	15,589	100.0%	17,854	100.0%	+14.5%	+2,264
売上原価	10,744	68.9%	12,354	69.2%	+15.0%	+1,609
売上総利益	4,844	31.1%	5,500	30.8%	+13.5%	+655
販売費及び一般管理費	3,223	20.7%	4,476	25.1%	+38.9%	+1,252
営業利益	1,621	10.4%	1,024	5.7%	△36.8%	△597
Non-GAAP営業利益	1,841	11.8%	1,334	7.5%	△27.6%	△507
経常利益	1,619	10.4%	1,024	5.7%	△36.8%	△595
親会社株主に帰属する当期純利益	962	6.2%	604	3.4%	△37.3%	△358
1株当たり当期純利益 [※]	102.12円	—	65.05円	—	△36.3%	△37.07円
連結技術者数(期末) [※]	2,201人	—	3,024人	—	+37.4%	+823人

※ Non-GAAP営業利益は、本質的な業績を測る利益指標として、営業利益に減価償却費、のれん償却費、株式報酬費用を足し戻した金額を計算しています。

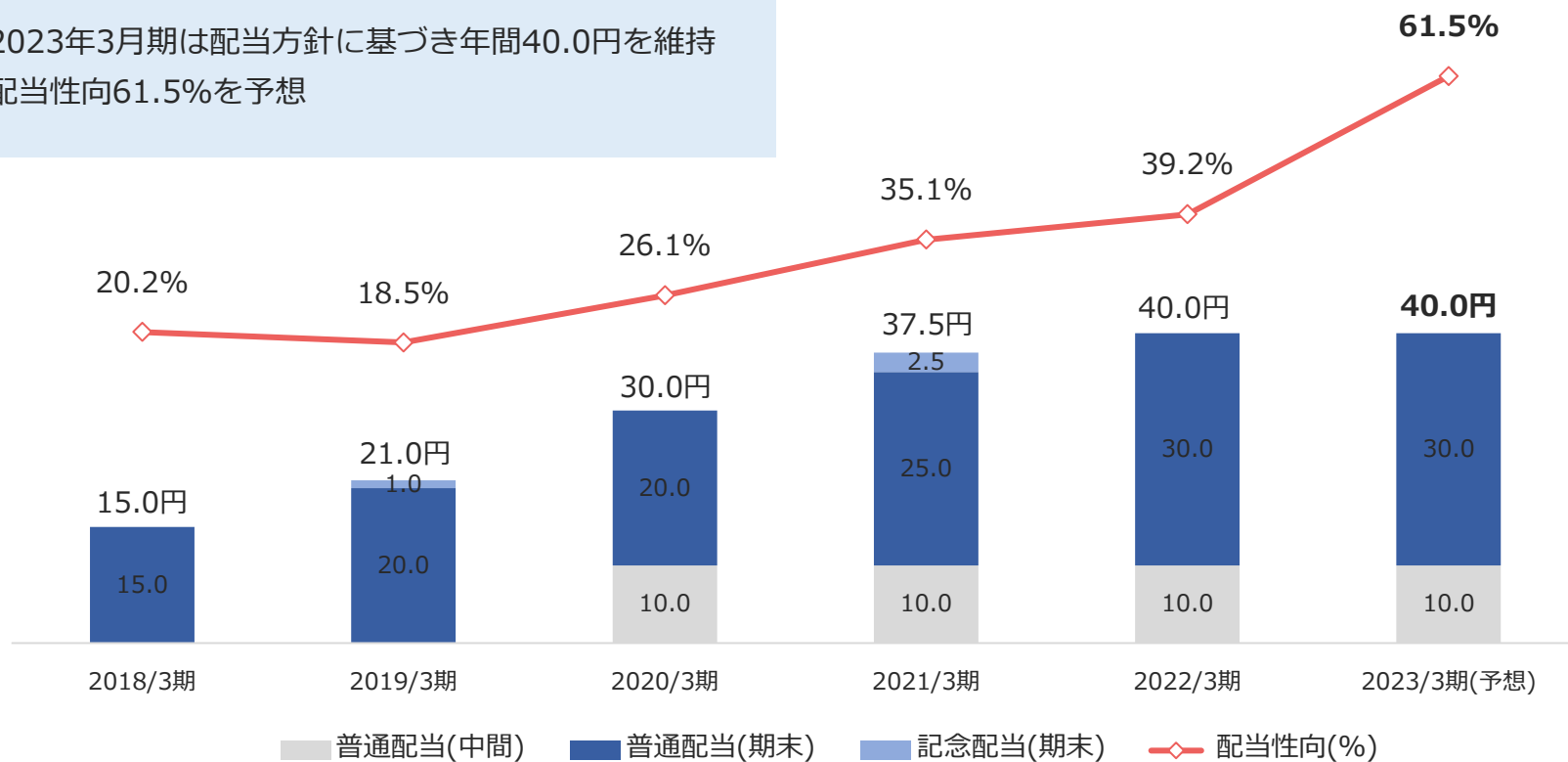
※ 連結技術者数はSES事業におけるITフリーランスを含む期末人員数を記載しています。

株主還元

【基本方針】

当社は、経営上の重要課題の一つと位置づける株主還元においては配当を基本とし、中期経営計画「コプロ・グループ Build the Future 2027」の対象期間(2023年3月期～2027年3月期)は減配を行わず、積極的な投資により達成される利益成長に応じて、安定的な配当を行うことを基本方針とします。

- ✓ 2023年3月期は配当方針に基づき年間40.0円を維持
- ✓ 配当性向61.5%を予想



※ 記念配当は、2019/3期が上場記念配当、2021/3期が東証・名証一部市場変更記念配当となります。

※ 1株当たり配当金は2021年4月1日付で実施した1対2の株式分割に伴う影響を加味して遡及修正をしています。

1. 連結決算概要

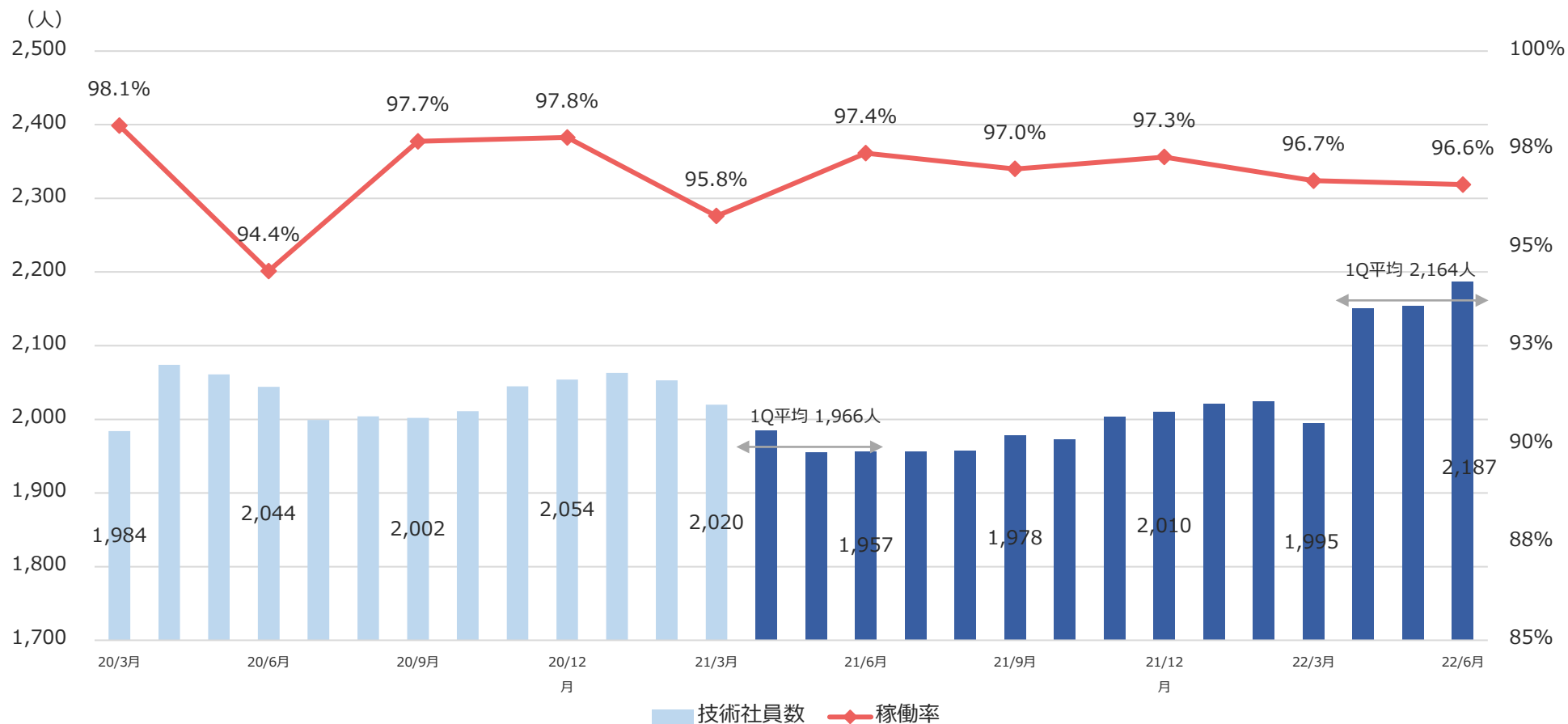
2. 建設技術者派遣における主な取組み

3. 連結業績予想

4. 参考資料

建設技術者派遣：技術社員数・稼働率

- 当1Q末の技術社員数は2,187人(前1Q末比+230人)。採用数増加及び退職数減少による純増に加え、ヒューコス株式会社の労働者派遣事業を2022年4月1日付で承継し技術者122名が移籍。
- 当1Q末の稼働率は96.6%(前1Q末比△0.8pts)。



建設技術者派遣：採用/退職・定着率

- 採用数は四半期ベースで過去最高を記録。
- 採用数のうち、中途採用数は239人と前期比+65人、同+37.4%の増加。積極的な採用費の投下により応募数が大幅に増加したほか、応募から面接までのリードタイム短縮や面接実施数の拡大など取組みを強化。
- 技術社員の1Q定着率は89.7%と前期比+4.9pts改善。深耕営業が奏功し、大手ゼネコン等のターゲット企業への配属比率が高まったことにより、退職数が減少。

技術社員の採用・退職人数

(単位：人)

	2022/3期					2023/3期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	通期(予想)
採用人数計	230	208	213	183	834	293	1,501
新卒・第二新卒	56	0	0	0	56	54	84
中途	174	208	213	183	778	239	1,417
退職人数計	293	187	181	198	859	223	885
無期雇用技術社員	24	25	21	24	94	40	-
有期雇用技術社員	269	162	160	174	765	183	-
純増減	△63	+21	+32	△15	△25	+70	+616
M&A等による増加	0	0	0	0	0	+122	+122
期末在籍人数	1,957	1,978	2,010	1,995	1,995	2,187	2,733

技術社員の定着率

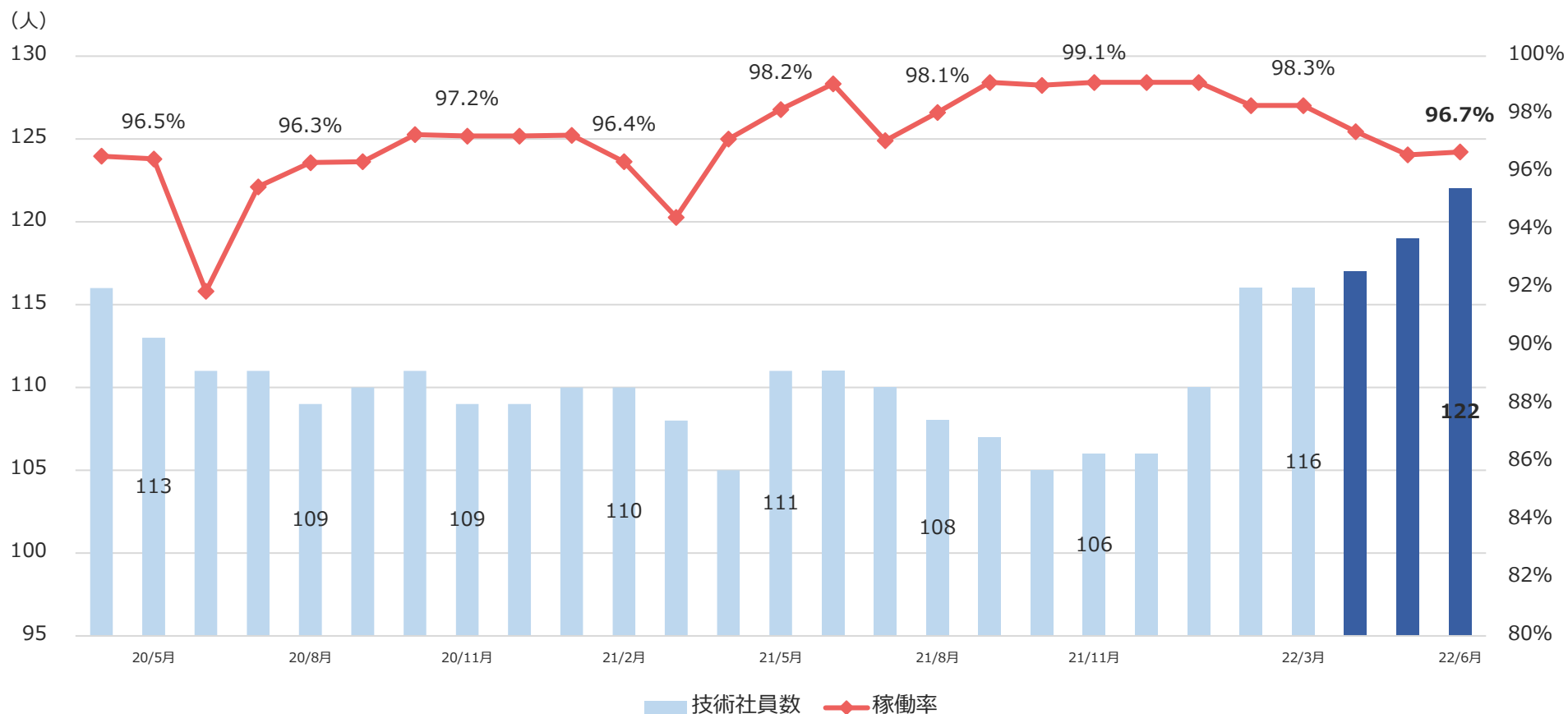
	2022/3期				2023/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
定着率(今期累計)	84.8%	79.3%	74.6%	69.4%	89.7%
定着率(LTM)	68.0%	69.5%	69.2%	69.4%	71.8%

※ 定着率(今期累計) = 前4Q末に在籍していた技術社員数のうち、当該四半期末に在籍している人数の割合。

※ 定着率(LTM) = 1年前の四半期末に在籍していた技術社員の内、1年後の当該四半期末に在籍している人数の割合。

機械設計開発技術者派遣・請負：技術社員数・稼働率

- 前期より拡充を進めてきた社内体制の整備に従い、採用数が拡大。これにより技術社員数は順調に増加。
- 稼働率は未経験者採用強化に伴う社内研修受講の非稼働者が発生しているものの、全体では引き続き高い水準を維持。



機械設計開発技術者派遣・請負：採用/退職・定着率

- メーカー出身のエキスパート人材を中心とした経験者の採用は引き続き順調に実現。また、未経験者の採用推進により当1Qで14名を採用。
- 海外人材の帰国に伴う退職が発生したため、退職者数はやや増加。

技術社員の採用・退職人数

(単位：人)

	2022/3期					2023/3期	
	1Q	2Q	3Q	4Q [※]	通期	1Q	通期(予想)
採用人数計		2	3	15	20	14	85
新卒		0	0	0	0	1	1
中途		2	3	15	20	13	84
退職人数計		5	5	5	15	8	23
無期雇用技術社員		5 [※]	4	3	12	7	-
有期雇用技術社員		0	1	2	3	1	-
純増減		△3	△2	+10	+5	+6	+62
期末在籍人数		108	106	116	116	122	178

※ 技術社員から管理社員へのキャリアチェンジ3名を含む。

※ 2022/3期4Qは決算期の変更により、2021年12月から2022年3月の4カ月間の実績を記載。

技術社員の定着率

	2022/3期				2023/3期
	1Q(参考 [※])	2Q	3Q	4Q	1Q
定着率(今期累計)	100.0%	95.4%	91.7%	88.9%	93.1%
定着率(LTM)	92.9%	92.7%	90.8%	88.9%	84.7%

※ 定着率(今期累計) = 前4Q末に在籍していた技術社員数のうち、当該四半期末に在籍している人数の割合。

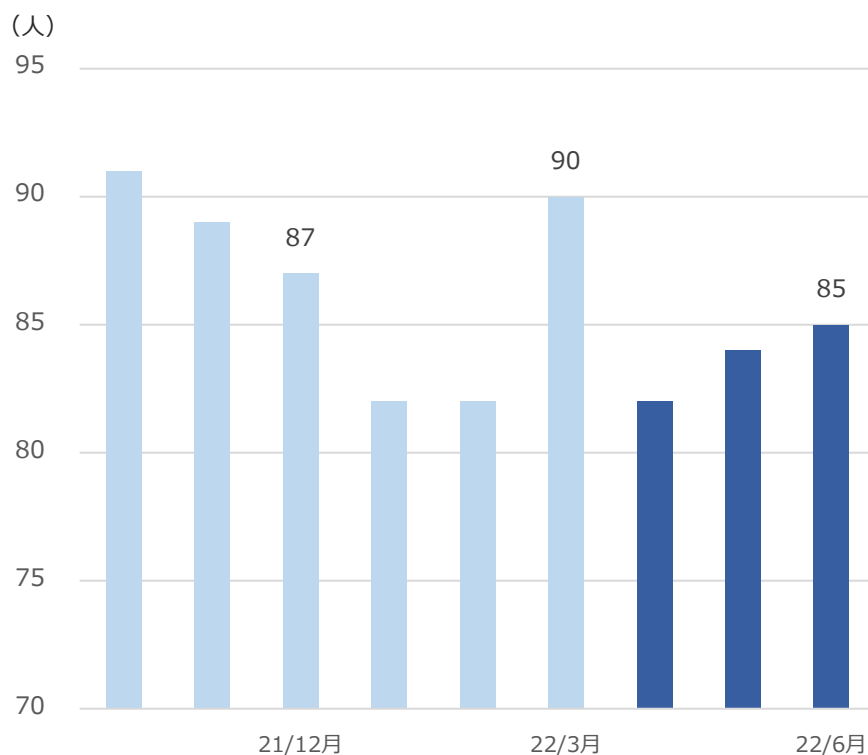
※ 定着率(LTM) = 1年前の四半期末に在籍していた技術社員の内、1年後の当該四半期末に在籍している人数の割合。

※ 株式会社アトモスはM&Aに伴い2021年6月より損益の連結を開始したため、2022/3期1Qの実績は参考値として記載。

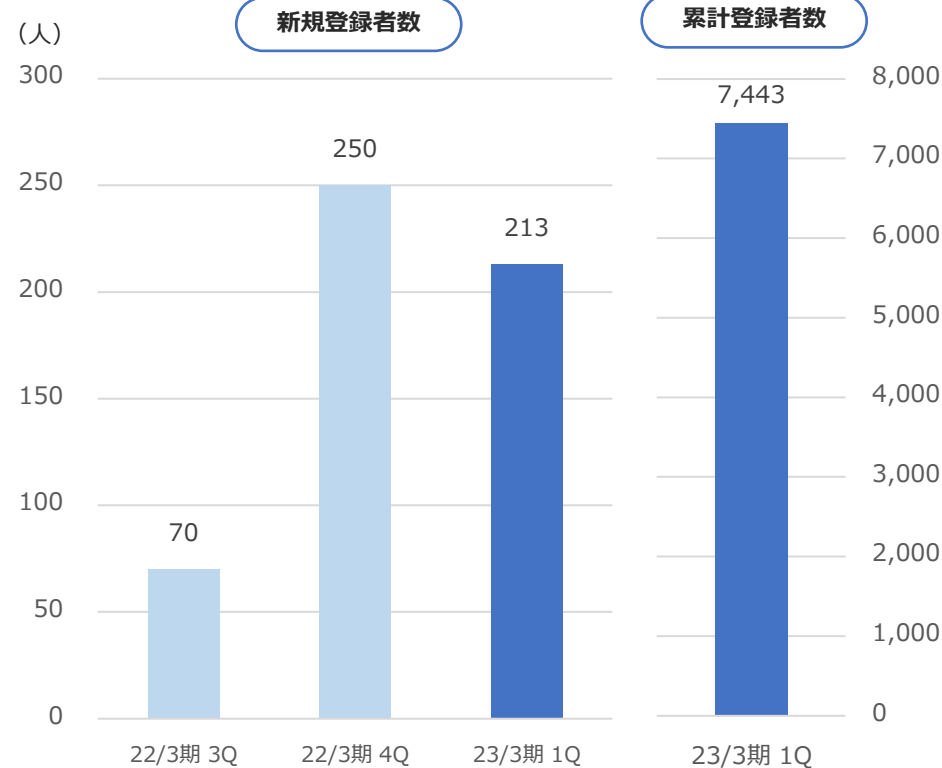
SES：技術者稼働人数・ITフリーランス新規登録者数

- 稼働人数は年度末で3月終了のプロジェクトが多く純減したものの、5月以降順調に増加。
- 新規登録者数は、自社求人サイト「ハッピーエンジニア」に加え、有料媒体広告の掲載により応募者数の確保が進んでいる。

稼働人数



ITフリーランス登録者数



企業認知度向上の取り組み

当社グループの更なる認知度向上を目的としてメディア露出を強化。

豊田スタジアム（バックスタンド側LED看板）



(広告期間：2021年7月～掲示中)

バンテリンドーム名古屋（1・3塁ベンチ内シート看板）



(広告期間：2022年3月～掲示中)

Youtube広告



(広告契約期間：2022年7月1日～2023年6月30日(予定))

<https://www.youtube.com/watch?v=D7oYsHnZjTo>



視聴用
QRコード

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- この資料は投資の参考に資するため、株式会社コプロ・ホールディングス（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、公表日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【本資料に関するお問い合わせ・ご質問、お待ちしております】

株式会社コプロ・ホールディングス

経営企画室

<フリーダイヤル> 0120-253-066

※WEBでのお問い合わせは下記当社HPの

質問フォームにてお願いいたします

<https://www.copro-h.co.jp/contact/>

スマートフォン
からも
お問い合わせ
いただけます



IRメール配信
サービスは
こちらから
ご登録下さい

